

## 基幹研修Ⅰ シラバス

(公益社団法人日本精神保健福祉士協会・生涯研修制度 基幹研修シラバス (第2版) より一部抜粋)

### <獲得目標>

本協会構成員の基本的な知識として、「本協会の歴史と役割」について、我が国における精神科医療・保健福祉の歴史的課題を背景にした国家資格制定にかかわる経緯と専門職団体の使命を踏まえ、現状と課題を理解する。

精神保健福祉士の活動領域と実践の実際を学び、専門職としての主体性を考える機会とするとともに、精神保健福祉士の基本的な「社会的責務」について理解する。また精神保健福祉士の価値と倫理について再確認し、自らの専門性について深める機会とする。

総じて、所属機関における専門性の発揮に必要な基盤を獲得することを目指す。

### <講義1> テーマ：公益社団法人日本精神保健福祉士協会の役割と課題

#### 【目的】

本協会の歴史を学ぶ必要性について理解するとともに、精神保健福祉士として専門職団体に所属する意義について理解を深める。

公益社団法人日本精神保健福祉士協会の歴史を振り返り、国家資格化の経緯を理解するとともに、「Y問題」から構築した精神保健福祉士の価値を理解する。協会活動を理解し、本協会の役割と今後の課題について理解する。

### <講義2> テーマ：精神保健福祉士の専門性Ⅰ

#### 【目的】

精神保健福祉士としての自らの実践が、精神保健福祉士の価値と倫理に基づくものでなければならないことを理解する。

精神保健福祉士としての立脚点を確認するため、医学モデルと異なる視点である生活モデルについて、特にICF（国際生活機能分類）を踏まえて理解する。

精神保健福祉士としての専門性に基づくかわりについて、自己決定の尊重、権利擁護の視点、人と状況との全体関連性と生活者支援の視点から理解する。

本協会の倫理綱領制定の経緯を講義1とも関連させて理解する。専門職としての研鑽の必要性を再確認し、スーパービジョンの活用方法を理解する。

### <講義3> テーマ：精神保健福祉士の実践論Ⅰ

#### 【目的】

精神保健福祉士として求められる基本的な日常業務と役割を理解する。クライアント（利用者）とのコミュニケーション、ニーズの重要性を再認識し、ソーシャルワークの基本原則に基づいた実践の在り方を理解する。

多様化する活動領域と各領域での実践展開と特殊性を理解するとともに、ソーシャルワーク実践の共通基盤を習得する。

<演習 I >

【目的】

グループ討議を通して、

- ・互いに知り合い、支え合う雰囲気づくりを醸成する。
- ・自らの精神保健福祉士としてのあり方や自分の職場を客観視する。
- ・自己の感情や考察を言語化し、自己理解を深めて自らの実践課題を知る。

※詳細なシラバスは公益社団法人日本精神保健福祉士協会ホームページに掲載されております。

<http://www.japsw.or.jp/ugoki/kensyu/document/Syllabus-1.pdf>

公益社団法人日本精神保健福祉士協会 生涯研修制度体系図

